

三沢市立三沢病院での小児科実習を終えて

弘前大学医学部医学科 5 年 赤津亜美

このたび、三沢病院にて 2 週間にわたる小児科の臨床実習に参加させていただきました。初めての学外実習で緊張もありましたが、先生方やスタッフの皆さまの温かいご指導のもと、非常に実りある時間を過ごすことができました。

実習では、複数の先生の外来診療に同席させていただきました。子供への声かけや診察の工夫、保護者の方への丁寧な説明や対応など、先生ごとにアプローチに違いがあり、それぞれに学びがありました。短い診察時間の中でも、疾患や治療について分かりやすく教えていただき、ただ見学するだけでなく、自ら考える機会も多く持てたことが印象的でした。



また、夕方には必ず医師全員で病棟回診を行い、日中の患者の経過や対応について情報を共有している場面にも加わりました。日々の忙しい診療の中でもこうしたチームで情報を共有しながら診療にあたる姿勢に、医療現場の連携の重要性を感じました。

なかでも特に印象深かったのは、アレルギーを専門とされる鈴木先生のもとでの学びです。小学校教職員向けのエピペン講習会に同行させていただき、アナフィラキシーへの予防・対応だけでなく、過去の事故例を交えながら実践的な講義を行っておられました。教育現場と医療の橋渡しを行う姿に感銘を受け、自分自身の今後のキャリア形成についても考えるきっかけとなりました。また、プリックテストを行っていただく機会があり、長年甲殻類アレルギーだと思い込んでいた私が、実はそうではないことが分かりました。「食べることは生きること」と温かく励まされ、恐怖心にも寄り添ってくださったおかげで、10 年ぶりにエビを口にすることができました。医学的な正しさだけでなく、患者の気持ちに寄り添う姿勢に、医師としての在り方を学んだように思います。

短い期間でしたが、小児科の魅力と奥深さを感じるとともに、「子ども」と「周囲の大人」の両方に向き合う難しさとやりがいを感じることができました。今回の実習で得た経験を今後の勉強や実習にしっかりと活かしていきたいと思います。

最後になりましたが、お忙しい中、丁寧にご指導くださった先生方、スタッフの皆さまに心より感謝申し上げます。

実習期間：2025.3.31～2025.4.11